

平成24年度(23年度実施分)事務事業目的評価表

様式1-1

記入日 平成 24 年 10 月 2 日

1 事務事業 の現状 (DO)	事務事業名	No. 680302	親子通園事業			主管課名	子育て支援				
	この事務事業の位置	政策	社会と次代を担う自立した人材の育成			課長名	小野田 猪之吉				
		施策	安心して子どもを産み、育てられるまち								
		基本事業	子育て支援サービスの充実								
(1)事業の概要											
保健センターとの連携により、発達に心配のある概ね1歳から3歳までの就園前の乳幼児を対象に親子で通園し、遊びを通して日常生活の指導や親子関係を育て、子どもの心身の発達を促すとともに親同士の交流を深める。 【実施施設】 保健センター 【実施形態】 通園利用は明知保育園内、短期コース利用は保健センター内 【通園利用】 定員60名、2歳児週2回、1歳児週1回 【短期コース利用】 定員10名の1クール10回、年間3グループに分け実施					(5)活動指標(事務事業の活動量を表す指標) … 数値は(9)						
						名 称	単 位				
						教室参加者数	人				
						療育研修(勉強会)の開催回数	回				
						発達心理相談実施回数	回				
					その指標						
24年度計画			前年と同様 変更あり	変更内容	通園施設の拡大予定及び27年度新事業開始予定						
						(6)対象指標(対象の大きさを表す指標) … 数値は(9)					
(2)対象(この事業の対象、範囲となる人、物)			その指標			名 称					
1歳から未就園児の精神発達に問題があると思われる概ね3歳までの児と保護者						単 位					
						1歳6ヶ月児健診の精神発達要観察児数	人				
						3歳児健診の精神発達要観察児数	人				
(3)意図(この事業によって(2)の対象をどのような状態にしたいのか)			その指標			(7)成果指標(意図の達成度を示す指標) … 数値は(9)					
療育活動の場に親子で積極的に参加できる 就園に向けて相談できる						名 称					
						単 位					
						教室の開催回数	回				
						通園事業参加児数	人				
						就園相談を受けた件数	件				
(4)結果(上位基本事業の意図：基本事業にどのように貢献するか)			その指標			(8)結果の成果指標(上位基本事業の成果指標) … 数値は(9)					
安心して子育てしてもらおう						名 称					
						単 位					
						子育て支援の相談件数	件				
						ファミリーサポートセンター援助活動の回数	回				
						子育てに関する相談件数	件				
(9)事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標	年度	単位	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
(5)の 活動指標		人	85	89	90	100	100	150			
		回	15	12	12	15	20	20			
		回	80	80	80	100	120	120			
(6)の 対象指標		人	226	226	230	235	240	240			
		人	137	141	150	150	160	160			
(7)の 成果指標		回	198	191	200	200	200	200			
		人	79	89	90	90	95	100			
		件	59	34	35	40	45	45			
(8)の結果の 成果指標		件	1,231	1,232	1,232	1,232	1,232	1,232			
		回	1,484	1,419	1,419	1,419	1,419	1,419			
		件	2,509	2,262	2,262	2,262	2,262	2,262			
(10)予算費目		会計	01 一般会計			款	03	項	02	目	01
(11)コスト		年度	22年度実績値	23年度実績値	24年度計画値	25年度目標値	26年度目標値	27年度目標値			
事業費(決算又は予算額)		単位	6,079	6,306	6,643	7,625	7,625	7,625			
A 財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	47	53	83	83	83	83			
	一般財源	千円	6,032	6,253	6,560	7,542	7,542	7,542			
人件費 B		千円	5,321	5,946	5,946	5,946	5,946	5,946			
	正職員従事時間×人数	時間×人	150 × 1	120 × 2	120 × 2	120 × 2	120 × 2	120 × 2			
正職員以外の人件費		千円	4,767	5,044	5,044	5,044	5,044	5,044			
その他費用 C		千円	47								
トータルコスト A+B+C		千円	11,447	12,252	12,589	13,571	13,571	13,571			
単位あたりコスト (トータルコスト /(6)の対象指標)		千円/ 人	51	54	55	58	57	57			
		千円/ 人	84	87	84	90	85	85			
		千円/									

様式1-2

2 環境変化と住民意見等	事務事業名 No. 680302 親子通園事業		
	(1)この事務事業はいつから開始したのか？ 平成17年8月 から	(4)事業実施上の課題、住民・議会等からの意見は？	
	(2)この事務事業を開始したきっかけは？ 豊田市子ども発達センターの母子通園を利用していたが、対象者の増加、拠点施設の必要性が高まり開所した。	・専門職員の不足 ・健診により早期発見・早期治療を勧めることにより対象児及び利用児の増加が予想される。	
	(3)事務事業を取り巻く状況は開始時期や過去と比べ変化しているか？ 変化していない 変化している → 変化した内容 定員より多い親子が通園している。		

3 評価(SEE) 目的妥当性 有効性 効率性 公平性	(1)この事務事業は法定受託事務ですか、それとも、自治事務ですか？ また、この事務事業を行う根拠や理由はなんですか？	法定受託事務 → 自治事務 →	根拠法令 法定受託事務は(2)から(5)への記載不要、(6)から評価する 根拠法令 児童育成計画 この事務を行う根拠又は理由 発達に問題がある児の成長を助長をするため、療育指導や支援する場が必要	
	(2)この事業の意図は結果(基本事業の意図)に結びつきますか？	結びつく 結びつかない →	理由	
	(3)対象を見直すこと(対象の拡大又は縮小)はできませんか？	できる → 拡大 → できない → 縮小 →	内容	親子通園退所後も継続的な療育指導・支援を必要とする人
	(4)意図を見直すこと(意図の追加・拡充(意図の段階は正しいか)又は絞込み)はできませんか？	できる → 追加 → できない → 拡充 → 絞込み →	内容	親子通園退所し、就園後も安定した支援療育相談・支援体制をつくる。
	(5)この事業を廃止した場合の影響はありますか？	影響が大きい 多少影響がある → 影響はない	理由又は内容	
	(6)今以上に事業の成果を向上させることはできませんか？ 1-(7)の成果指標を向上させることはできませんか？	できる → できない	理由又は内容	保育園の空き教室を有効に利用し教室を実施しているため。
	(7)類似又は関連する事業はありませんか？ また、類似事業との再編で費用対効果が向上しませんか？	ある → 庁内事業 → ない → 庁外事業 →	類似事業名 類似事業との再編の可能性	ある → 内容 ない
	(8)現在の成果水準のままでは事業費を削減する方法はありませんか？(仕様や工法の変更、住民の協力など)	ある → ない	内容	
	(9)現状より人件費を削減する方法はありませんか？(従事時間を削減できないか？正職員以外の職員や外部委託はできないか？)	ある → ない	内容	
	(10)受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	ある → 現状で適正 → ない → 検討が必要 → 受益者がいない	内容	

4 改革改善案(PLAN)	(1)今後の事業の方向性	拡大	改善	現状維持	縮小	統合	廃止・休止
		コストの方向性	維持	事業費の方向性	増額	成果の方向性	向上
	(2)改革・改善案 対象、意図、手段等の見直しなど	・早期療育・対象者の増加により、子育て支援を図るための拠点が必要。					